

仕 様 書 B (案)

長野技術専門校

| 項 目 | 内 容 | | |
|-------------|--|-----|--------------|
| コ ー ス 番 号 | N N - 1 4 | | |
| 訓 練 種 類 | 知識等習得コース (デジタル分野訓練特例 (IT 資格+DX 推進スキル)) | | |
| 訓 練 科 名 | プログラミング基礎科 (仮) | | |
| 訓 練 期 間 | 4 か月 | | |
| 定 員 | 1 8 名 | | |
| 訓 練 実 施 地 区 | 長野公共職業安定所管内 | | |
| 募 集 時 期 | 令和7年8月1日(金)～令和7年9月16日(火) | 選考日 | 令和7年9月24日(水) |
| 実 施 時 期 | 令和7年10月7日(火)～令和8年2月6日(金) | | |
| 受 講 対 象 者 | パソコンのキーボード操作及びファイル操作ができる、本訓練の受講対象となる求職者。 | | |
| 訓 練 目 標 | 汎用プログラミング言語である Java を学ぶとともに ITSS レベル 1 以上の資格を取得し、就職を目指す。 | | |
| 目 標 資 格 | IT スキル標準(ITSS)レベル1以上の検定受験は必須。 日商PC検定(データ活用)3級と同等の資格並びに I T パスポートは受講生の任意。 | | |
| 訓 練 内 容 | 訓練目標、目標資格を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。 | | |
| 訓 練 時 間 | 1 訓練実施日及び時間は仕様書A(共通事項)の5(3)、総訓練設定時間及び訓練期間は仕様書A(知識等習得コース)によること。 2 公共職業安定所での求職活動を考慮し、月に1回程度「訓練時間の短い日または休みの日」を事前に公共職業安定所と相談の上で設定すること。また、設定した日を受講生へ周知すること。 3 やむを得ずその他の休日を設ける場合は、長野技術専門校と協議すること。 | | |
| 特 記 事 項 | 1 コースの仕様 ①訓練科名は、求職者を引き付ける、魅力ある名称を簡潔につけること。 ②就労時に必要なビジネスマナー及びコミュニケーション能力向上の演習等をカリキュラムに入れること。 ③目標資格の難易度や実用性について、受講生が理解できるよう伝え、目標意識・達成感を感じることができるよう指導すること。 2 その他の委託条件 ①訓練期間終了時に修了できないことが予測される受講生について、補講により修了させることができる場合は、原則として訓練期間中に補講を実施すること。 ②委託費等の支払条件及び上限金額については、全て仕様書Aを参照のこと。 ③受講希望者の選考面接に参加すること。(原則3名) ④応募時に、仕様書A(知識等習得コース)の2(4)イ①で定める書面を提出し、要件を満たしていることが確認できればDX推進スキル標準対応コースとして所定のデジタル訓練促進費の支給対象とできるが、デジタル資格コースのデジタル訓練促進費が支給されない場合に限り支給する。 | | |

仕 様 書 B (案)

長野技術専門校

| 項 目 | 内 容 | | |
|-----------|--|-----|--------------|
| コ ー ス 番 号 | N N S - 0 1 | | |
| 訓 練 種 類 | 高齢求職者スキルアップコース | | |
| 訓 練 科 名 | パソコン実務初級科（仮） | | |
| 訓 練 期 間 | 3 か 月 | | |
| 定 員 | 1 5 名 | | |
| 訓練実施地区 | 飯山公共職業安定所管内 又は 須坂公共職業安定所管内 | | |
| 募 集 時 期 | 令和7年8月1日(金)～令和7年9月22日(月) | 選考日 | 令和7年9月30日(火) |
| 実 施 時 期 | 令和7年10月17日(金)～令和8年1月16日(金) | | |
| 受 講 対 象 者 | パソコン操作が初心者の、対象となる求職者。 (概ね60歳以上であるが、50歳以上の求職者であっても当該求職者の状況に応じ、公共職業安定所が受講を認めた場合は受講可能であること。) | | |
| 訓 練 目 標 | 実務に必要なパソコン技能や、日商PC検定3級と同等資格の取得、ビジネススキル、コミュニケーション能力を習得し、早期安定就労を目指す。 | | |
| 目 標 資 格 | 日商PC検定(データ活用、文書作成)3級と同等以上の資格。 ただし、受験は受講生の任意とする。 | | |
| 訓 練 内 容 | 訓練目標、目標資格を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。 | | |
| 訓 練 時 間 | 1 訓練実施日及び時間は仕様書A(共通事項)の5(3)、総訓練設定時間及び訓練期間は仕様書A(知識等習得コース)によること。 2 公共職業安定所での求職活動を考慮し、月に1回程度「訓練時間の短い日または休みの日」を事前に公共職業安定所と相談の上で設定すること。また、設定した日を訓練生へ周知すること。 3 やむを得ずその他の休日を設ける場合は、長野技術専門校と協議すること。 | | |
| 特 記 事 項 | 1 コースの仕様 ①訓練科名は、求職者を引き付ける、魅力ある名称を簡潔につけること。 ②パソコン初心者を対象とするため、Windowsの基本操作の習得をカリキュラムに入れること。 ③就労時に必要なビジネスマナー及びコミュニケーション能力向上の演習等をカリキュラムに入れること。 ④目標資格の難易度や実用性について、受講生が理解できるよう伝え、目標意識・達成感を感じることができるよう指導すること。 2 その他の委託条件 ①訓練期間終了時に修了できないことが予測される受講生について、補講により修了させることができる場合は、原則として訓練期間中に補講を実施すること。 ②委託費等の支払条件及び上限金額については、全て仕様書Aを参照のこと。 ③受講希望者の選考面接に参加すること。(原則3名) | | |

仕 様 書 B (案)

長野技術専門校

| 項 目 | 内 容 | | |
|-----------|--|-----|---------------|
| コ ー ス 番 号 | N N - 1 5 | | |
| 訓 練 種 別 | 知識等習得コース | | |
| 訓 練 科 名 | 介護職員初任者研修科（仮） | | |
| 訓 練 期 間 | 3 か月 | | |
| 定 員 | 1 5 名 | | |
| 訓練実施地区 | 長野市 | | |
| 募 集 時 期 | 令和7年8月1日（金）～ 令和7年10月3日（金） | 選考日 | 令和7年10月15日（水） |
| 実 施 時 期 | 令和7年10月30日（木）～令和8年1月29日（木） | | |
| 受 講 対 象 者 | 介護現場への就職を目指す、対象となる求職者。 | | |
| 訓 練 目 標 | 介護職員初任者研修課程の資格取得及び介護現場で必要となるコミュニケーション能力を習得し、早期就職を目指す。 | | |
| 目 標 資 格 | 介護職員初任者研修修了資格 | | |
| 訓 練 内 容 | 訓練目標、目標資格を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。 | | |
| 訓 練 時 間 | 1 訓練実施日及び時間は仕様書A（共通事項）の5（3）、総訓練設定時間及び訓練期間は仕様書A（知識等習得コース）によること。 2 公共職業安定所での求職活動を考慮し、月に1回程度「訓練時間の短い日または休みの日」を事前に公共職業安定所と相談の上で設定すること。また、設定した日を訓練生へ周知すること。 3 やむを得ずその他の休日を設ける場合は、長野技術専門校と協議すること。 | | |
| 特 記 事 項 | 1 コースの仕様 ①訓練科名は、求職者を引き付ける、魅力ある名称を簡潔につけること。 ②就労時に必要なビジネスマナー及びコミュニケーション能力向上の演習等をカリキュラムに入れること。 ③目標資格の難易度や実用性について、訓練生が理解できるよう伝え、目標意識・達成感を感じることができるよう指導すること。 2 その他の委託条件 ①実施公告6（2）⑦記載の手続を行うこと。 ②訓練期間終了時に修了に値すると認められなくなることが予測される訓練生について、当該訓練生を補講により修了させることが出来る場合は、原則として補講を実施すること。 ③委託費等の支払条件及び上限金額については、全て仕様書Aを参照のこと。 ④受講希望者の選考面接に参加すること。（原則3名） | | |

仕 様 書 B (案)

長野技術専門校

| 項 目 | 内 容 | | |
|-----------|--|-----|---------------|
| コ ー ス 番 号 | NN-16 | | |
| 訓 練 種 類 | 知識等習得コース (デジタル分野訓練特例 (WEB 資格+DX 推進スキル)) | | |
| 訓 練 科 名 | パソコン・Web 制作実務科 (仮) | | |
| 訓 練 期 間 | 4 か月 | | |
| 定 員 | 18 名 | | |
| 訓練実施地区 | 長野公共職業安定所管内 又は 篠ノ井公共職業安定所管内 | | |
| 募 集 時 期 | 令和7年8月8日(金)～令和7年10月10日(金) | 選考日 | 令和7年10月22日(水) |
| 実 施 時 期 | 令和7年11月6日(木)～令和8年3月5日(木) | | |
| 受 講 対 象 者 | パソコンのキーボード操作及びファイル操作ができる、対象となる求職者。 | | |
| 訓 練 目 標 | 日商 PC 検定2級と同等及び Web クリエイター能力認定(エキスパート)の資格を取得し、就職を目指す。 | | |
| 目 標 資 格 | WEBクリエイター能力認定(エキスパート)の検定受験は必須。日商PC検定(データ活用、文書作成)2級と同等以上の資格も目指すが、受験は受講生の任意とする。 | | |
| 訓 練 内 容 | 訓練目標、目標資格を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。 | | |
| 訓 練 時 間 | 1 訓練実施日及び時間は仕様書A(共通事項)の5(3)、総訓練設定時間及び訓練期間は仕様書A(知識等習得コース)によること。 2 公共職業安定所での求職活動を考慮し、月に1回程度「訓練時間の短い日または休みの日」を事前に公共職業安定所と相談の上で設定すること。また、設定した日を訓練生へ周知すること。 3 やむを得ずその他の休日を設ける場合は、長野技術専門校と協議すること。 | | |
| 特 記 事 項 | 1 コースの仕様 ①訓練科名は、求職者を引き付ける、魅力ある名称を簡潔につけること。 ②パソコン初心者を対象とするため、Windows の基本操作の習得をカリキュラムに入れること。 ③就労時に必要なビジネスマナー及びコミュニケーション能力向上の演習等カリキュラムに入れること。 ④目標資格の難易度や実用性について、受講生が理解できるよう伝え、目標意識・達成感を感じることができるよう指導すること。 2 その他の委託条件 ①訓練期間終了時に修了できないことが予測される受講生について、補講により修了させることができる場合は、原則として訓練期間中に補講を実施すること。 ②委託費等の支払条件及び上限金額については、全て仕様書Aを参照のこと。 ③受講希望者の選考面接に参加すること。(原則3名) ④応募時に、仕様書A(知識等習得コース)の2(4)イ①で定める書面を提出し、要件を満たしていることが確認できればDX推進スキル標準対応コースとして所定のデジタル訓練促進費の支給対象とできるが、デジタル資格コースのデジタル訓練促進費が支給されない場合に限り支給する。 | | |

仕 様 書 B (案)

長野技術専門校

| 項 目 | 内 容 | | |
|-------------|---|-----|---------------|
| コ ー ス 番 号 | NN-17 | | |
| 訓 練 種 類 | 知識等習得コース | | |
| 訓 練 科 名 | パソコン会計実務初級科（仮） | | |
| 訓 練 期 間 | 3か月 | | |
| 定 員 | 18名 | | |
| 訓 練 実 施 地 区 | 長野公共職業安定所管内 又は 篠ノ井公共職業安定所管内 | | |
| 募 集 時 期 | 令和7年8月25日(月)～令和7年10月31日(金) | 選考日 | 令和7年11月11日(火) |
| 実 施 時 期 | 令和7年11月26日(水)～令和8年2月25日(水) | | |
| 受 講 対 象 者 | パソコン操作が初心者の、本訓練の受講対象となる求職者。 | | |
| 訓 練 目 標 | 日商PC検定3級及び日商簿記3級と同等資格の取得、会計ソフトを使用した経理・会計の幅広い知識を習得し、就職を目指す。 | | |
| 目 標 資 格 | 日商PC検定(データ活用、文書作成)3級と同等以上の資格及び日商簿記検定3級と同等の資格。ただし、受験は受講生の任意とする。 | | |
| 訓 練 内 容 | 訓練目標、目標資格を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。 | | |
| 訓 練 時 間 | 1 訓練実施日及び時間は仕様書A(共通事項)の5(3)、総訓練設定時間及び訓練期間は仕様書A(知識等習得コース)によること。 2 公共職業安定所での求職活動を考慮し、月に1回程度「訓練時間の短い日または休みの日」を事前に公共職業安定所と相談の上で設定すること。また、設定した日を受講生へ周知すること。 3 やむを得ずその他の休日を設ける場合は、長野技術専門校と協議すること。 | | |
| 特 記 事 項 | 1 コースの仕様 ①訓練科名は、求職者を引き付ける、魅力ある名称を簡潔につけること。 ②パソコン初心者を対象とするため、Windows の基本操作の習得をカリキュラムに入れること。 ③就労時に必要なビジネスマナー及びコミュニケーション能力向上の演習等をカリキュラムに入れること。 ④目標資格の難易度や実用性について、受講生が理解できるよう伝え、目標意識・達成感を感じることができるよう指導すること。 2 その他の委託条件 ①訓練期間終了時に修了できないことが予測される受講生について、補講により修了させることができる場合は、原則として訓練期間中に補講を実施すること。 ②委託費等の支払条件及び上限金額については、全て仕様書Aを参照のこと。 ③受講希望者の選考面接に参加すること。(原則3名) | | |

仕 様 書 B (案)

長野技術専門校

| 項 目 | 内 容 | | |
|-------------|--|-----|---------------|
| コ ー ス 番 号 | N N - 1 8 | | |
| 訓 練 種 類 | 知識等習得コース | | |
| 訓 練 科 名 | 医療事務科（仮） | | |
| 訓 練 期 間 | 3か月 | | |
| 定 員 | 18名 | | |
| 訓 練 実 施 地 区 | 長野市 | | |
| 募 集 時 期 | 令和7年9月1日(月)～令和7年11月7日(金) | 選考日 | 令和7年11月18日(火) |
| 実 施 時 期 | 令和7年12月5日(金)～令和8年3月4日(水) | | |
| 受 講 対 象 者 | 医療分野への就職を目指す、対象となる求職者。 | | |
| 訓 練 目 標 | 医療事務・調剤薬局等に必要な知識・技能を習得し、資格の取得・認定に取り組み、医療分野への早期就職を目指す。 | | |
| 目 標 資 格 | メディカルクラーク(医科)、ドクターズクラーク(医師事務作業補助)、調剤薬局報酬技能認定資格と同等資格。ただし、受験は受講生の任意とする。 | | |
| 訓 練 内 容 | 訓練目標、目標資格を満たし、就職に繋がる効果的な内容とする。 | | |
| 訓 練 時 間 | <p>1 訓練実施日及び時間は仕様書A(共通事項)の5(3)、総訓練設定時間及び訓練期間は仕様書A(知識等習得コース)によること。</p> <p>2 公共職業安定所での求職活動を考慮し、月に1回程度「訓練時間の短い日または休みの日」を事前に公共職業安定所と相談の上で設定すること。また、設定した日を訓練生へ周知すること。</p> <p>3 やむを得ずその他の休日を設ける場合は、長野技術専門校と協議すること。</p> | | |
| 特 記 事 項 | <p>1 コースの仕様</p> <p>①訓練科名は、求職者を引き付ける、魅力ある名称を簡潔につけること。</p> <p>②基礎部分の習得に注力する時間配分とすること。</p> <p>③就労時に必要なビジネスマナー及びコミュニケーション能力向上の演習等をカリキュラムに入れること。</p> <p>④目標資格の難易度や実用性について、受講生が理解できるよう伝え、目標意識・達成感を感じることができるよう指導すること。</p> <p>2 その他の委託条件</p> <p>①訓練期間終了時に修了できないことが予測される受講生について、補講により修了させることができる場合は、原則として訓練期間中に補講を実施すること。</p> <p>②委託費等の支払条件及び上限金額については、全て仕様書Aを参照のこと。</p> <p>③受講希望者の選考面接に参加すること。(原則3名)</p> | | |